

NPO法人
保護ねこ施設

CATS WELCARE

CATS WELCARE理念

ねこのしあわせのために
ひとのしあわせのために

活動案内
2022-2023



CATS WELCARE



ネコを守りたい。
殺処分されるネコを
一匹でも減らしたい。
そのために自分に何ができるか。
その思いが原動力です。

NPO法人
CATS WELCARE 代表

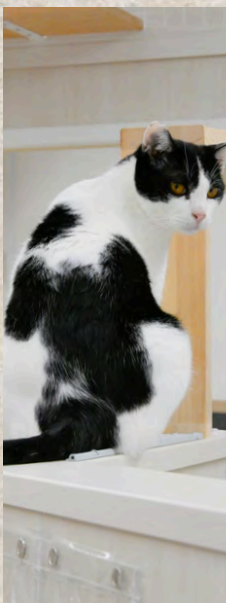


川越 里佳 小児科専門医／家庭動物管理士

子どものころからの動物好き。勤務医として働きながら動物保護活動ボランティアを経験。TNR（野良猫に不妊手術を施し繁殖を制限するとともに地域で見守る活動）現場で捨て猫と思われる猫や子猫に出会うたび、リターンせず保護する場所が必要と感じ、2019年末、NPOの前身である任意団体を設立。現在も小児科開業医とNPO法人代表の二足の草鞋で活動中。

CATS WELCAREとは

猫には人と同じ心があります。CWCに集まってくる子たちの多くは、苦しみや悲しみ、恐怖を経験してきています。猫には人と同じ知能があります。けれどそれは2歳児程度といわれています。不条理な経験で傷ついた心をプラスの感情に昇華させるような高度な知能はありません。不安や恐れ、不信、そういう負の感情からうなり、牙をむき、おびえ、人が与える食事を拒否する。そういう時を経て、少しずつ少しずつ庇護される安心や温かさを感じ心を開いてくれるよう見守りお世話をしています。助けても助けてもその数は減りません。けれど目の前の1匹1匹を大切に幸せにすること、まずそれが何よりも優先すべきことだと思って活動をしています。



活動内容

【保護活動】

この2年間で128頭の猫と1頭の犬を保護し、115頭の猫と1頭の犬を温かいご家庭にお譲りしました。その中で特筆すべきは、多頭飼育崩壊の支援3件と傷病猫の保護です。

2022年11月、16頭の猫と1頭の犬を多頭飼育崩壊現場より救出しました。飼い主の経済状況は厳しく退去が1か月後に迫っている中、一切の費用はCWCが負担しました。飼育場所の確保に難渋しましたが何とか全頭を保護しました。

2023年7月に次の多頭飼育崩壊レスキューを経験しました。こちらも1か月後に退去が決まっている中10頭の保護でした。飼い主は失語症で意思の疎通が難しい上にとっても頑固な方で、行き場が見つからずホームレスになるのか？という状況の中、猫と飼い主双方の支援に奔走しました。

2023年10月にはシェルター近くのご家庭に介入しました。ご近所の方からの情報提供で行政とも連絡をとりましたが解決策が見いだせず、直接支援に乗り出しました。4年前に保護した4頭が出産を繰り返し、30頭になっていました。不妊手術の支援と完全室内飼育の指導をし、その後の経過を見守っています。

2023年夏には下半身まひの子猫を保護しました。汚泥の上で何か月も過ごし四肢は褥瘡だらけでした。とても気が強く、治療をする私たちに毎日牙をむきました。どんなに大変な日々を一人きりこの小さな体で乗り切ってきたのか。世話をするたび胸が痛みましたが、今ではすっかり傷も癒え甘えん坊になりました。まひの克服を目指しリハビリに励んでいます。

【NPO法人化】

任意団体として発足したCATS WELCAREですが、2023年4月に大阪市にNPO法人として認可を受けました。今後さらに活動の幅を広げていきたいと思っています。

今後の展望（地域社会活動）

「2023年、大阪市西区地域包括支援センターの依頼を受けケアワーカーさん向けに「高齢者とペット問題」という講演をしました。今、高齢者の健康上の問題で行き場を失うペットが増えています。CWCでもこういう子たちの保護依頼が立て続いています。なんとか保護したいと頑張っていますが、多くは猫も高齢であり里親探しの難しさや健康問題が課題となります。保護費もご負担いただけないことが多く、助ければ助けるほど譲渡が難しい猫たちの飼育費、医療費の負担が大きくなっています。

一方でまだまだ元気なのに将来を心配して保護猫の里親になることをためらう高齢者もたくさんいます。こういう思いやりのある方々はむしろ時間や経済的な余裕のない若者より猫を幸せにできるかもしれないと思っています。行き場のない高齢猫を高齢の方にお譲りする、そして万一飼育継続が難しくなった場合には再度CWCが責任をもってその子の新しい生活の場を探す。そういった高齢者とペットの支援の形を作りたいと思っています。「ねこのしあわせのために。ひとのしあわせのために。」双方がハッピーになれる活動を今後も目指していきます。



多頭飼育崩壊

－解説と事例－

多頭飼育崩壊とは、一般的にはペットが増えすぎて、適切に飼育できない状態のことを言います。飼い主が適正に飼育できる頭数を超えてしまうことによって、飼育環境が著しく悪化し、ペットたちにもストレスや病気を患う場合があります。

特に猫は繁殖力が強いため、不妊・去勢手術を受けていないと、多頭飼育崩壊に陥るリスクは高くなります。多頭飼育崩壊は遠い社会の出来事ではなく、地域の身近なところで常に起きる状況にあると言えます、一つの社会問題と言えるでしょう。

このような背景もあり、2020年6月に改正動物愛護法が施行され、暴力を加えるなどの「積極的虐待」や、放置するといった「ネグレクト」の法定刑が「1年以下の懲役または100万円以下の罰金」に引き上げられました。警察による動物虐待事件の摘発は10年の33件から21年は170件に増えています。

私たちも保護猫活動を続ける中で、多頭飼育崩壊の状況にある猫たちの保護するというケースが増えてきています。多頭飼育崩壊を起こさないようにするための啓蒙活動をしつつ、悲惨な環境の下で飼われてしまっている猫たちの保護をできる限り行っていきたいと思っています。



Iさんは、70代前半の独身男性です。個人事業の経営は順調で、都心のマンションで猫を飼い、部屋には釣りにエレキギター、モデルガン、ダーツ、絵画、ミニバーと趣味の道具にあふれ、悠々自適の日々を過ごしていました。が、ある日全ては一変します。脳梗塞で倒れ病院に搬送され一命をとりとめました。半身まひと失語症が残り、リハビリのため長期入院を余儀なくされました。

自宅には猫たちが取り残されていました。これまで自由に生きてきたIさん、自分の身体がままならないこと、失語のため伝えたいことを表現できないことに耐えられず、また仕事のことが気がかりで2か月目に病院を勝手に抜け出し自宅に戻ってしまいました。

自宅ではたくさんの猫が迎えてくれました。知人が置いてくれたエサで食いつないでいたようです。留守中に子猫も生まれその数は10頭となりました。部屋は荒れ果て、全てのものが尿で汚れています。猫たちがトイレにしていた浴室は一面に糞が堆積し、足を踏み入れることすら不可能でした。

失語のため仕事再開のめども立たず、貯金もなく、生活保護の受給を始めました。収入が途絶えたことへの不安からか介護職員の支援は拒否し、不自由な体でかろうじて近所のスーパーに食料品を買いに出かけて食いつなぐ、そんな生活でした。

家の片づけ・掃除をすることもできず、浴室は使えないまま半年が経ち夏が来ました。大量の猫の排泄物にはコバエとゴキブリがたかりひどい悪臭で、とうとう近隣の苦情で惨状が管理会社に知られることになりました。家賃も滞納していたため退去を命じられました。今後は生活保護費で家賃を支払うため、猫が飼える様な家には住めません。退去日が迫る中、本人は頑として首を縦に振らず、仲介をしていた福祉関係の方が見かねてCWCに猫たちの保護を依頼してこられました。

私たちが現場に急行した時、惨状に言葉もありませんでした。Iさんは猫を手放す気もありません。猫たち、そしてIさんを助けるにはまず私たちが味方だと理解して頂くしかありません。



差し入れのお弁当をもって自宅に通い、まず浴室の掃除をしました。悪臭に吐きそうになりゴキブリにおびえながら大きなゴミ袋2杯分の糞を回収、排水口の掃除もしてシャワーが使えるようになりました。次にお伺いした時、Iさんは笑顔で自分の胸を指さしました。半年ぶりにシャワーを浴びて新しい服に着替えすっきりしたといたかったのです。

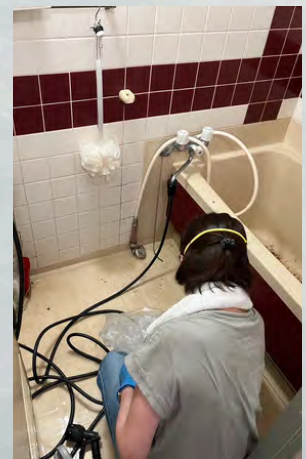
その後はIさんも少しずつ打ち解けて私たちに猫を託してくれると言ってくれました。Iさんが寂しくないように、一番お気に入りの子だけは退去直前まで残すことにして順次猫たちを保護しました。退去前日、最後の1頭を迎えにお伺いしたところ姿が見えません。Iさんにどんなに聞いても口を割らず、途方にくれました。仕方なく引っ越し当日業者をお願いして荷物の搬出に立ち会いましたが結局見つかりませんでした。1頭を残したことに後悔しきりでしたが、翌日転居先の介護マンションの方から猫を見つけたと連絡があり無事保護しました。別れるのがつらく、荷物の中にこっそり隠していたのです。

Iさんの不幸は病気から始まりましたが、猫の不妊手術をしていれば今も元の家で暮らせていたのではないかと思います。

多頭飼育崩壊は猫を愛していないから起こるわけではありません。猫を複数飼う人にはその繁殖力を知り不妊手術の必要性を理解してもらうこと、今回のような具体的事例を知ってもらうことが役に立つと思います。Iさんも最初は数年前に3頭の猫を拾って飼い始めたのが始まりだったそうです。

猫ブームと言われるようになって久しいですが、現在多頭飼育崩壊は大きな社会問題となっています。前頁の活動報告でも触れたように、CWCもこの2年で3件の多頭飼育崩壊に介入しました。介入に至らなかったけれど情報が寄せられたのは他に何件もあります。各々に予測できなかった事情がありました。

ペットの責任はすべて飼い主にあるというのが今の常識ですが、もう一歩進んだ管理の方法を考えるべきなのかもしれません。それが多くの命を守ることになるのではないのでしょうか。



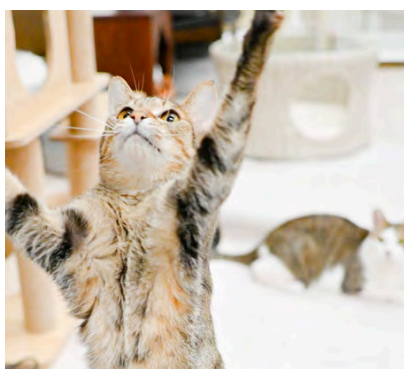
▲ネコのトイレになっていた浴槽(写真左)
浴槽を掃除し、ほとんど綺麗になった様子(写真右)

CATS WELCARE



CATS WELCAREの3つの魅力

#01

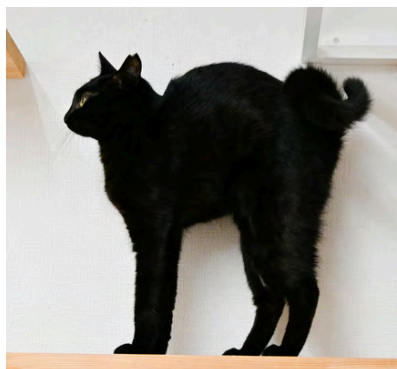


触れ合える

保護ねこルームにいるのは、保護された野良猫や飼育放棄された猫たちです。CATSWELCAREでは猫をケージに入れずできるだけ自然体で過ごしてもらうようにしています。お客様との距離が近く、たくさん触れ合っていたくことに慣れているので、人懐っこい子が多いのが特徴です。

透明のキャットウォークやキャットホイールを設置し、日頃なかなか目にすることがない猫の一面を見ていただけます。

#02



家族になれる

猫と触れ合えるという点は従来の猫カフェと同じですが、CWCでは全ての猫の里親を募集しています。実際に猫と触れ合っていたき、里親希望の方々それぞれのご都合に合わせた譲渡プランをスタッフがご提案いたします。

譲渡後も、飼育上の悩みや問題などを共に考え幸せな生活のためのサポート体制を築いています。

家族に迎えたい子が見つかりましたらお気軽にお声がけください。

#03



応援できる

里親になれないから行ってはいけないのかな？そう思われる方もいらっしゃいますが、そんなことはありません。遊びに来ていただいた際お支払いいただく施設利用料は猫たちの食事代や医療費に使われます。お客様と一緒に遊び撫でていただくことが人馴れ訓練となり、新しい家族に迎えられる第一歩を踏み出すことができます。

かまってちゃんな子は人がいることが楽しくて、お客様が来るのを心待ちにしています。



CWCでの過ごし方

CATS WELCARE に来られたら、まずスリッパに履き替え、手をしっかり消毒していただきます。手洗いが済んだらいいよネコ達とご対面。階段を上るところからたくさんのネコがお出迎えしてくれます。お好きな飲み物を選んでいただいて、あとはネコとおもちゃで遊ぶなり、おやつをあげるなり、ソファに座ってネコたちを眺めながら、膝にのってくるのを待つなり。お好きなスタイルでお楽しみください。

interview

#01



スタッフ 西井千瑳

私は小さい頃から動物が好きで、将来は動物に関わる仕事がしたい！と専門学校へ行きました。就職は憧れの地、北海道へ。

酪農の仕事で3年間務め、帰阪。仕事も決めずに帰ってきましたが、なんとかなるやろ。と呑気に構えていたところ、CATS WELCAREと出会いました。

正直、野良猫の知識はあまりなかった私ですが動物の扱いには慣れていたのでなんとか仕事をこなす日々。

外で野良猫を見かけても「可愛いな～」としか思っていないんですけど、CWCで働き始め知識が増えてくると「ちゃんとごはん食べれてるのかな…寝床はあるのかな…」と心配ばかりするようになりました。

CWCには日々、いろいろな猫たちの保護依頼が来ます。虐待されている、足を引きずっている、飼えなくなった、子猫がひとりぼっち、などなど…。

この世に生まれてきたからには幸せになる権利が、人間だけでなく動物たちにもあると私は考えています。不幸な子たちを幸せにする、そんな活動をこれからも続けていきたいです。

#02



スタッフ 石堂奈央

私は鹿児島県の自然豊かな場所で育ちました。そして、周囲には地域の人々や、様々な人たちがかわいがっている野良ネコ達がたくさん暮らしていました。振り返ってみると、私の生活の至るところにネコの存在があり、そのすべてが私自身のかけがえのない癒しとなっていました。

しかし、街中で車に轢かれて死んでいるネコや、繁殖しすぎた結果いつの間にか保健所に連れていかれた子ネコたち、多頭崩壊して飼育しきれなくなった結果、放置されて糞尿にまみれながら、今日を生きるために必死に食べ物を探す子も見ました。子どもながらそのような実態に疑問を感じ、胸が苦しくなった事を覚えています。

今、CWCの活動を通して、大好きなネコや周囲の人々の幸せのお手伝いのできていることをとても嬉しく感じるとともに、私自身もたくさんの幸せをもらっていると感じています。そして毎日ネコたちと触れ合う中で、「この尊い命を守り、恩返しをしたい。」という想いは強まるばかりです。

これからも少しでも多くのネコたちが心地よく生活し幸せを感じられるよう、がんばりたいと思います。

#03



ボランティアスタッフ 堀家 絵梨

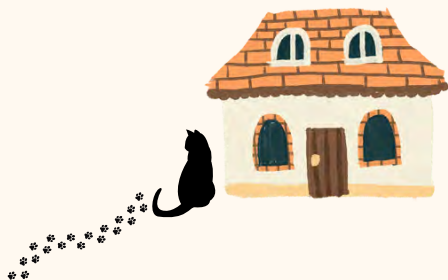
長年OLとして働いていましたが、転職を考えるきっかけで退職をした頃、ネットで「保護猫施設のボランティア募集」という文字が目にとまりました。ボランティアって何をすればいいんだろう？でも猫のためになるなら…と何も分からないまま、CATS WELCAREの門を叩きました。説明を聞くと、「まずは施設の掃除や猫のお世話など」とのこと。掃除でいいの？それなら私にもできそう！と思ったことが始まりです。

通っているうちに保護猫や活動のことを知るようになりました。活動の大きなところは「行き場のない猫を保護して譲渡に繋げる」なのですが、猫が病気だったら？施設維持のための資金面は？色々な現状を知っていく上で、様々な業務があり、自分の能力が少しでも役に立つなら…と今は事務のお手伝いもしています。

ボランティアに興味はあるけどちょっと勇気がない方へ。あなたにも猫のためにお手伝いできることがきっとあります。まずは一歩を踏み出してみてください。

里親になろう!

CATS WELCAREは保護ネコ施設です。
保護ネコルームにいるネコは皆家族になってくれる人を待っています。
遊びに行って気に入った子がいたら里親になってみませんか?



お気に入りを探そう!!

沢山の猫から一番好きな猫を探そう
CWCにはたくさんのネコがいます。猫達も里親さんが見つかったり、新しいネコが来たりで、どんどん入れ替わるよ。おやつをあげたり、おもちゃで遊んだり、写真を撮ったり、何回も通って自分のイチバンを探そう!!



トライアル開始!!

心が決まったら、トライアルを申し込もう
飼ってみたいと思ったら、まず2週間のトライアルを申し込もう。その間に頻りにスタッフとやりとりしながら飼えるのか、思った通りだったかなど体験しよう。困った事があっても大丈夫。スタッフが助けてくれるから安心。この2週間で、もし違うと思ったら返すこともできます♪



サロンへGO!!

まずはサロンに遊びに行こう

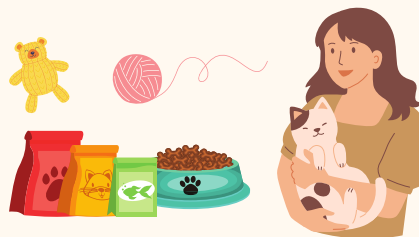
どんなネコがいるのか、まずは気軽に遊びにいこう! 1人でも友達とでも大丈夫。遊び方やネコと接し方はスタッフが教えてくれます。入り口についたらインターフォンを押すとスタッフがお出迎えしてくれます。



スタッフに相談!!

なんでも聞けるスタッフに相談しよう

気に入ったネコがいたら、特徴を教えてもらおう。
もし、もっと一緒にいたいと思ったら、相談しよう! 色々相談してたっぷりと考えよう。ネコを飼うことは大変なコト。だけどそれ以上の癒やしが待っているよ。



おめでとう!! ありがとう!!

おめでとう、家族が増えるよ

2週間スタッフとやり取りしながら飼ってみて、大丈夫と思ったらイザ契約! 家族として迎えてあげてください! 何かあったらいつでも相談してください。私達も居なくなるのは寂しいからたまには近況も聞かせてね!

保護ネコと家族になるまでの物語

里親さん目線で振り返ってみた

01.新しい子を迎えるためにCWCへ

SNSで見かけたほかの子に会うためにお店に行ったつもりが・・・。
まさかのおはぎとロデムに悩殺！
膝乗りと甘えん坊さにメロメロ♡
絶対にこの子達を迎えたい！



02.さっそくスタッフへ相談。 トライアルに向けて準備開始！

スタッフと連絡を取り合いながら、必要な物品の準備を済ませます。
自宅訪問のときは、間取りやドアや窓、脱走の危険がある場所を注意深く確認。
また、上下運動できそうな場所や危険は無いかなどもスタッフと一緒に考えます。

03.準備が整い、いざお家へ出発！

2週間のトライアル期間中、これから本当にお家の子として迎えられるか検討。
出発時、風邪ぎみだったおはぎは、安心して甘えられる環境で過ごせるようになったおかげで、元気いっぱいになりました。

04.正式譲渡決定！

CWCでのおはぎは、近づくネコを全員パンチで追い払っていたため、ロデムと仲良くできるか心配でした。
しかし、2匹で探検したり一緒にコタツに潜ったりするうちに徐々に距離が近付き、すぐ近くで眠れるようになり追いかっこをするまでの仲になりました。



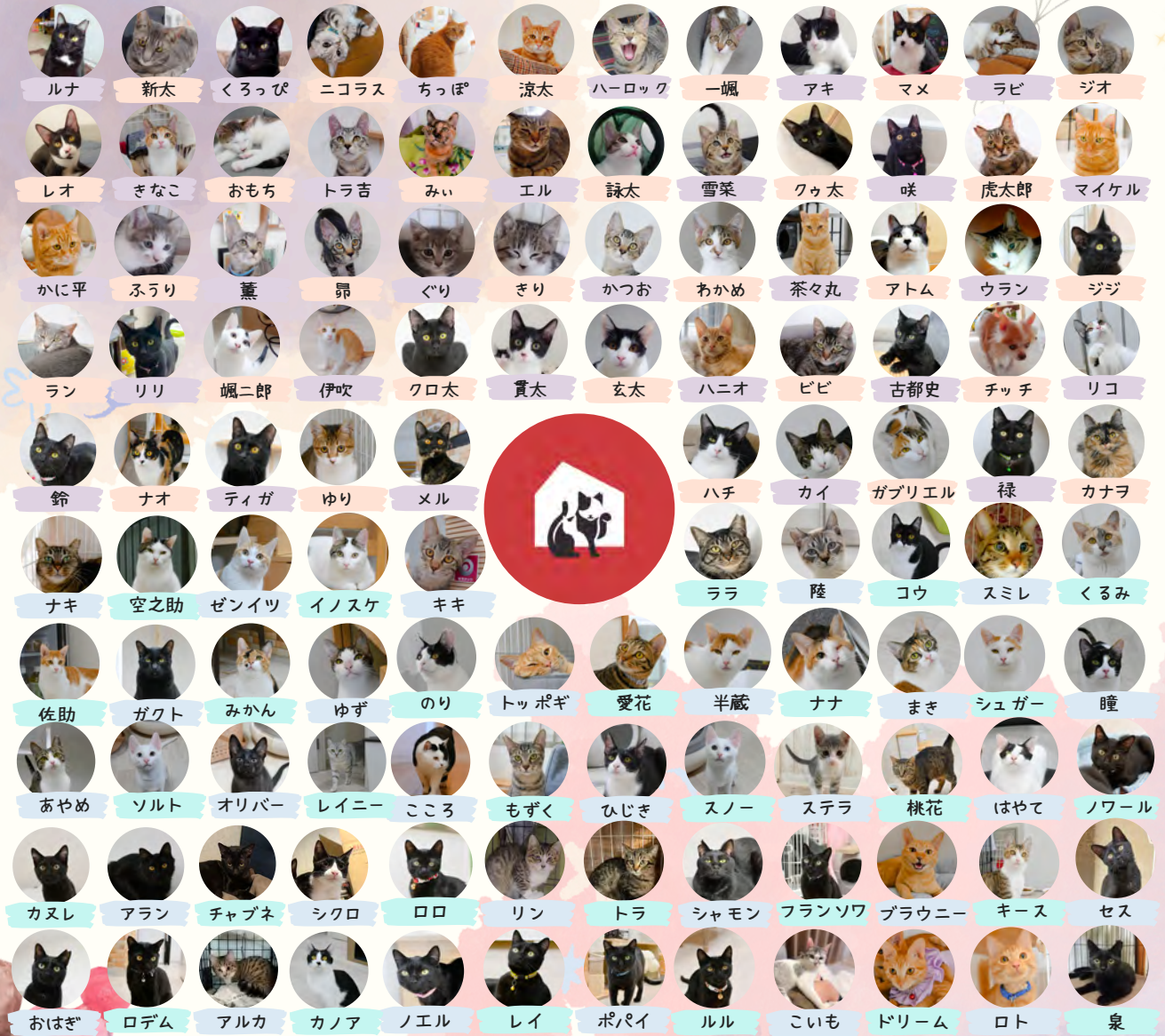
〈おはぎ&ロデムの里親さんからメッセージ〉

先代猫達が旅立ち、猫のいない生活は考えられないと保護猫を探す中、CWCのSNS情報に触れ、保護ネコルームを訪問。スタッフさんに色々お聞きし、逆指名（おはぎ）と一目惚れ（ロデム）でトライアルを即決定。相性未知数と心配された2匹ですが、「ずっとのお家」と理解したのか、徐々に存在を認め合って距離が縮まり、無事我が家の子に。譲渡後も、スタッフさんに何でも相談できるのはとても心強いです。2匹いるメリットは「個性の違いを発見できる」「体調の変化を比較できる」「2匹で遊べる」「2匹でのお留守番は人も猫も安心」、そして何より「2匹が仲良く寝ている姿は最高の癒し」。猫たちの可愛さと与えてくれる幸せに、出費が少し多くなるくらいはたいした問題ではありません(笑) 相性の良い2匹を見極めて一緒にお迎えするのは、猫にとっても人にとっても良いことづくめだと、猫歴19年の先輩として断言いたします！

卒業ネコ紹介

卒業
216頭

2022年1月から2023年12月までに、
ネコ115頭・イヌ1頭のずっとのお家が見つかりました！！
ネコは2匹の方が飼いやすい、と2匹一緒に迎えてくださる方、
先住猫に兄弟を、と言ってくる方、
新しい名前をつけてくださる方、名前も含めてそのまま受け入れてくださる方、
たくさんの心温かい里親さんに巡り会えました。
新しい家族と幸せいっぱいネコたちをご紹介します。



ずっとのお家で

みんな幸せいっぱい暮らしてます！

2024年6月現在でCATS WELCAREには約50頭の保護猫がいます。
ネコ達は里親さんを心待ちにしています。
里親になっていただくことで、その子を幸せにするだけでなく
次の新しい命を保護することが出来ます。

CONGRATULATIONS!

ネコ好きによる、ネコ好きのための

Q&A



QUESTION 1

ネコを初めてお迎えする時は、なにを用意したら良いですか？



ANSWER

ケージ
キャットタワー
ごはん皿、水皿
ごはん
トイレ
ネコ用おもちゃ

ワンポイントアドバイス

小さい部品や紐が付いているものは飲み込んでしまうことがあるため注意！
遊ぶとき以外はネコが届かないところに収納しておく
と安全です。

QUESTION 2

爪切りはどうやってしたら良いですか？



ANSWER

肉球を押して爪を出すと血管が見えるので、血が出ないように注意しながらカットしましょう。

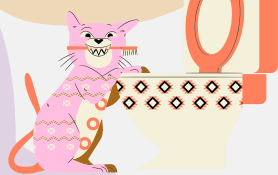
ワンポイントアドバイス

怖がる場合は洗濯ネットに入れて、ネットの隙間から手や足を出して切りましょう。顔を布で覆うと落ち着く子もいます。
それでも難しいときは、動物病院へ行ったときに切ってもらいます。



QUESTION 3

トイレはきちんと覚えますか？



ANSWER

ネコは自分で覚えられます！しかし、トイレが汚れている事がストレスになって、お漏らしをしてしまう子もいるので、常に清潔を保つのが理想です。

ワンポイントアドバイス

CWCから譲渡する場合は店で使っていた砂をお渡ししています。その砂を家の猫用トイレに入れてもらうと、
においてトイレの場所を判断できるようになります。
最初にトイレ以外で排泄をしてしまう場合は、
その子の排泄物をトイレの中に置いておくと、
きちんと覚えてくれるかもしれません。

QUESTION 4

ご機嫌なサイン、嫌がっているサインを教えてください！



ANSWER



猫のゴロゴロ音はご機嫌なサインです。
うーと低い声でうなっている、しっぽをばったばったとしているのは不機嫌なときになります。

ワンポイントアドバイス

体調が悪いときもゴロゴロ言うときがあります。
いつもより低い音で寝ながら苦しそうにしていたらCWCのスタッフか病院に相談してください。

CATS WELCAREを支えてくださっている皆様

みなさまのご支援でネコ達の命が救われています。

お名前が確認できず掲載できなかった方々も多数おられます。申し訳ございません。この場を借りて御礼申し上げます。

Financial support 寄付金支援者 (敬称略)

岡里沙 畔元 明香 足立 貴志 阿部 雄大 安東 治美
 雨宮 周平 池田 蓮 石田 逸子 石田 正憲
 泉谷 里佳子 磯野 友紀 乾野 正敏 今川 紀子
 上田 由美 鶴飼 帆子 内海 幸枝 大石 真 大浦 沙智子
 大木 輝 大竹 学 大西 清美 大西 裕子 大庭 まや
 大野 スギエ 大野 航 大平 香菜 大平 用子 岡 素子
 興津 大輔 小熊 依子 小倉 麻智 長田 愛子 小田 亜希子
 小田切 健 乙井 聡子 乙井 範子 小野 なおみ 笠嶋 千愛
 笠松 晃 櫻木 宏志 総谷 久美子 神尾 香 唐津 柁司
 川口 淳子 川越 宏幸 川端 悟 川端 律子 川端 律子
 菅 花鈴 神田 紫聖 キタダ アキラ 北野 恵梨子 木村 紀代子
 木村 倫子 鏑田 幸子 鏑田 仁志 坪井 由美子 土居 さち子
 土倉 亜純 富田 規彦 中井 友里恵 中江 梨瑚 中尾 ひとみ
 中蔵 良子 久次米 依子 工藤 裕子 久保 早苗 黒崎 須美子
 下司 哲也 香西 真由美 古賀 真紀子 越治 佳子 小西 裕子
 小西 理恵 駒谷 麻柚香 近藤 よしみ 酒井 麻衣 佐久間 あゆみ
 佐多 圭子 幸 明子 佐藤 雄平 三瓶 貴子 塩谷 歩美
 下敷領 博 篠塚 千賀子 嶋岡 直哉 駿田 佐保子 上横 宗一良
 白神 恵理子 仁賀木 三恵 新川 政子 新川 政子 水津 直也
 末岡 まり子 末永 真由美 杉 あつよ 杉浦 祐一 杉本 明日香
 杉本 喜代子 鈴木 民子 鈴木 千草 鈴木 愛美 泉水 晃子
 増崎 亜美 大東 真里 高昌 代 高磯 圭子 高倉 勝仁
 高瀬 富美子 竹田谷 百合子 武智 美帆 谷 穂 谷 柚月
 谷 百合香 谷口 実樹 丹波 園子 近本 綾香 仲里 功次郎
 月岡 理恵 築山 優希 長崎 江梨佐 仲里 功次郎 中西 琴美
 永田 敦子 仲田 正一 中谷 智恵 中西 健太 中西 琴美
 中野 聡士 中野 希巴江 長野 美帆 中村 泉瑛 中村 泉瑛
 中村 純子 中村 祥子 中村 大介 中村 千秋 中本 浩子
 中屋 尚子 中安 岳 那良 久美 西川 智子 西崎 由紀子
 西谷 登喜子 西松 鉦二 西村 香 西山 久美子 二瓶 尚美
 野口 茎子 野呂 みゆき 萩原 朋樹 長谷川 佐保子 八柄 友香
 浜崎 いくえ 浜田 貴与 林 みどり 林 隆一 葉山 結衣
 林田 寿人 東谷 陽子 ヒダカ マイコ 尾藤 朋子 平賀 あゆみ
 福田 美帆 廣瀬 敏和 廣瀬 美央 廣田 千鶴子 福林 良子
 福本 尚子 藤井 大直 藤井 彦造 藤井 美奈子 藤田 智美
 藤田 久代 藤田 麻里子 藤友 博和 藤原 裕美子 船崎 京香
 星野 せごん 細井 宏泰 細井 有紀 堀家 祐一 本多 一郎
 本多 淳子 本干尾 鮎美 升田 浩之 松田 優子 松田 優子
 松村 有莉 松本 まさえ 南 由里子 南野 隆志 南野 隆志
 岑田 愛 宮部 玲奈 宮本 悦子 宮本 みゆき 村上 笑美
 村田 恵梨香 森 沙織 森 康子 森井 慶子 森井 真由美
 森川 拓磨 森川 昌信 森下 睦子 森田 潤 森田 桃子
 守山 律充 八尾 加葉 柳沼 信彦 矢野 優子 山田 智子
 山田 光子 山高 義治 山本 真紀子 山本 雅子 山崎 亘
 湯川 小百合 横田 幸子 吉田 といみ 吉田 真紀 脇野 大輔
 りゅう じゅんごう 和中 優子 Lao August akashima Kyoko
 株式会社ゴンザレス 株式会社笑福建工 株式会社リレイション

Material support 物資支援者 (敬称略)

相沢 久遠 赤窄 明敏 秋岡 里沙 浅田
 葦苜 あすか 新井 公子 アリス 有光 実
 飯尾 彰子 五十嵐 玲 池田 かな 石田 逸子
 石田 春香 石田 正憲 磯野 友紀 一ノ瀬 創子
 井上 恵里子 井上 ゆか 今井 順子 今田 裕子
 岩崎 素子 白組 上田 真実 上野 茶巴
 鶴飼 帆子 白組 梅井 昭佳 王 玉潔
 大石 晶子 大内 大坪 孝子 大庭 まや
 大野 航 大平 香菜 岡 昌子 岡本
 大澤 美里 音泉 李奈 笠松 晃 総谷 久美子
 勝田 翔人 角野 ユミ 神奈川県の猫好き人
 金本 文代 上地 真可 河内 健介 河内 真子
 川口 淳子 川崎 悟 川崎 由美子 川瀬 理紗
 川津 奈津美 木村 倫子 亀掛川 朋美 北野 はるか
 黒崎 紀代子 黒崎 須美子 幸田 寛子 行友 瑞代
 志戸 夏美 小西 裕子 小山 理恵 コカツ
 小林 正子 駒村 妃映 小西 理恵 小林 新平
 酒井 裕里 佐久間 あゆみ 小山 桜庭 近藤 美夏
 重原 渚 篠塚 千賀子 篠山 亮子 塩谷 歩美
 新川 千草 未岡 まり子 杉 あつよ 庄野 恵子
 鈴木 千草 高磯 圭子 増崎 亜美 杉本 天音
 大東 真里 高木 聖子 高木 聖子 来元 亮子
 田口 準也 竹内 瑛梨果 田嶋 千晶 高岸 優子
 辰巳 由里子 タテウキ 谷口 綾 佐々木 淳子
 谷口 美樹 谷口 由美 谷脇 裕一 田中
 田村 健一 近本 綾香 近本 綾香 曹紫 聖
 作谷 若栄 辻村 坪井 由美子 ツボキ
 テラスカ 寺田 華恵 土居 さち子 樋野 友子
 土倉 亜純 富田 規彦 友田 修司 豊福 美和子
 内藤 藩 中江 梨瑚 長尾 英里子 中尾 ひとみ
 中川 長崎 亜由美 中西 琴美 中西 智子
 中野 いくみ 中野 希巴江 中村 大介 中村 奈津子
 中野 理恵 中安 岳 中谷 尚美 中谷 亮子
 名無し 新谷 亜紀 西 久美代 ニシオ
 西形 千代子 西崎 由紀子 西崎氏友人 西谷 朱樹子
 西谷 朋恵 西村 香 西山 久美子 西山 久美子
 二瓶 尚美 ねこいちご 野秋 真由美 野呂 みゆき
 ハセガワ 畑中 沙織 八柄 友香 服部 ハルカ
 濱崎 郁恵 濱崎 いくみ 林 亜貴子 林 雅美
 林 隆一 早野 小百合 原 美智代 春木 綾乃
 東中 祥子 久嶋 尾藤 朋子 平井 美緒
 平岡 香織 中村 純子 中村 純子 平井 由里
 平野 光樹 福井 愛 福田 実加 福本 尚子
 藤井 愛香 藤井 美加子 藤田 久代 藤田 久代
 藤原 裕美子 古川 瞳 古川 瞳 星野
 細川 夕希 牧野 幸江 正木 奈保美
 真嶋 このみ ミズハラ 松浦 友子 マツモト マサエ
 ミヤモト 宮本 みゆき 三田 敏幸 三田 南 智子
 村上 笑美 村上 瑞季 村田 真美子 村田
 村田 直美 本干尾 鮎美 本干尾 研太 もふもふ
 森井 慶子 森川 覚史 森下 睦子 森實 真理
 八尾 加葉 矢野 優子 山口 志歩 山口 志歩
 山口 直人 山下 由美子 山下先生 山田 綾子
 山田 智子 山田 高利 山田 光子 ヤマダ マサコ
 山中 早紀 山根 山本 千里 山本 牧代
 山崎 亘 山崎 早莉 湯川 小百合 山本 千恵
 吉川 吉田 真紀 吉原 吉原 真由 吉松 真由
 吉村 匠 吉村 理沙 吉本 真 依岡 なおみ
 若鶴 亮 和田 みやこ 渡邊 茜 渡辺 靖明
 HIROKO HuiKaMing NH スマイルワン NS
 VeSync キーテイル ぼちたま薬局
 アイペット損害保険株式会社

多くの方々の温かなご支援により私たちの活動は成り立っています。ご支援くださっている皆様お一人お一人が保護活動者です。これからの不遇な境遇で苦しむ猫たちを1匹でも多く救うため力を合わせていきましょう。
 現場にいる私たちにはまだまだやりたくてもできないことがたくさんあります。目の前の命を大切に第一に考えながらも、現状に甘んじることなくよりよい活動となるよう努力いたします。
 日々のお力添えに心より感謝しています。スタッフを代表してこの場で御礼申し上げます。今後ともどうぞよろしく願い申し上げます。

川越 里佳

コラム

下半身不随たまの話

2023年9月、人が入れないほど狭いビルの隙間に両足を引きずった子猫がいると連絡が入り保護されたのがたまでした。元々親猫と一緒に元気に暮らしていた姿を確認されていたので、どこかのタイミングで怪我を負い置いて行かれてしまったのかもしれませんが。

たまがいた場所は泥水が溜まり糞尿の臭いが立ち込め、いろんな虫がうじゃうじゃいる所でした。そんな場所で歩くことが出来ずお尻を擦りながら暮らしていたので足とお尻の肉は削げて骨が剥き出しになり蛆虫が湧いていました。

病院で診察してもらった結果、脊髄損傷による下半身不随である可能性が高いことが分かりました。今は前足の力のみで歩いていますが少しでも後ろ足が動けばたまの世界はもっと広がる！それを信じてリハビリを続けています。保護当初には無かった反射や痛覚反応が見られるようになり、少しの高さなら乗り越えられるようになりました。しっかり足を立て自分で前に踏み出す動作をすることも増えてきました。

外の暮らしで沢山怖い思いをしてきたのでしょうか、とても怖がりで警戒心も強く唸り続け、隙あらば噛みついてくる子でとても心配しましたが、スタッフや応援してくださる方たちの愛情をたっぷり受け、今では抱っこもできる甘えん坊に育っています。



支援者からコメント

株式会社リレイション：井畑様

こんにちは！

京都府久御山町でオリジナルの猫用寝具や人間用寝具等をネット販売しております株式会社リレイションの井畑と申します。

私がCWCさんを知ったのは2022年。立ち上げた会社が軌道に乗り始め、保護猫活動の応援を始めたいといろいろな団体の活動をネットで見っていた時でした。その中で目に留まったのがCWCさんのsyncable（シンカブル）やCAMPFIRE（キャンプファイヤー）のプロジェクト。活動報告は合わせると80回超（多い!）その報告の一つ一つが真摯で、すごく伝わるものがありました。私も微力ながら応援したいと気持ちが熱くなったのを覚えています。

実際にお付き合いが始まると、私が思っていた以上に真摯に、丁寧に猫と向き合っておられ、私自身もっと出来ることがあるのでは?と考える機会がすごく増えました。

これからもより一層応援させて頂きたいと思っております。宜しくお願い致します。



収支報告と総評

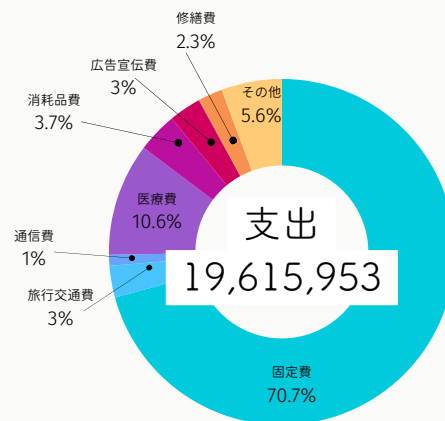
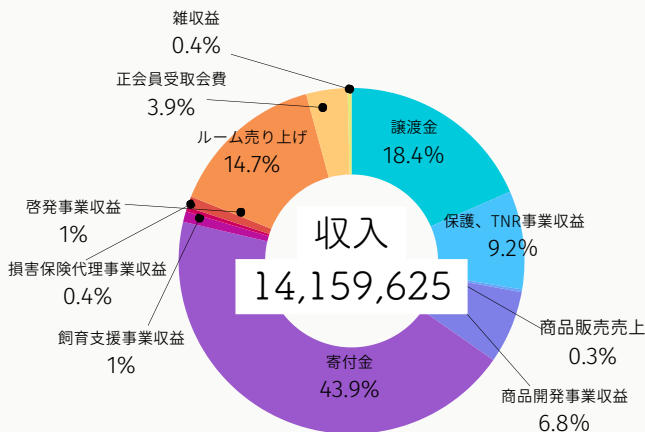
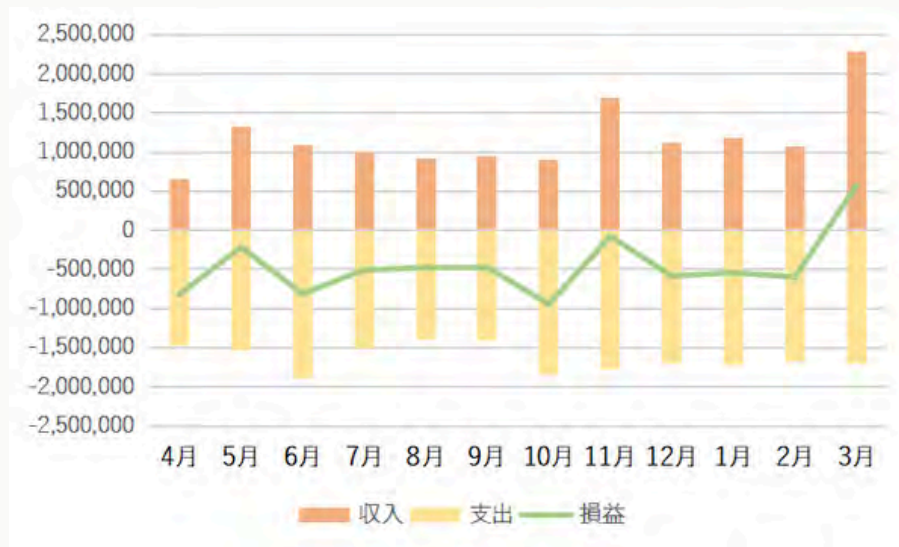
2023年は飛躍の年となりました。2019年に任意団体としてスタートしたCATS WELCAREは2023年春にNPO法人CATS WELCAREとなりました。

3年前は収入4,183,023円、支出11,393,235円でしたが、2023年度の収入は3倍超まで伸びている一方、支出は2倍弱に抑えられています。収入の伸びの大半は皆様からのご支援によるもので、この場を借りて深く御礼申し上げます。

とはいうものの赤字経営は続いており、このたび本来の活動目的である保護・譲渡を担うNPO法人と、カフェを運営する保護ねこルームに事業を分割し、立て直しを図ることになりました。

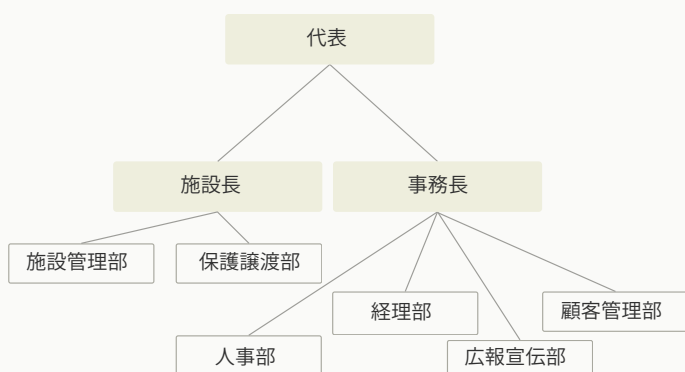
赤字脱却が悲願ではありますが、たとえ赤字でも私たちの元に来た子たちには安心して暮らしていける場を提供することを第一に考え活動を続けます。多くの方々が応援してくださっていることは私たちにとって強い心の支えです。どうぞこれからもよろしくお願い申し上げます。

収益推移 2023.4-2024.3



事業全体として経常しております。

組織図・スタッフ一覧



- | | |
|-------|--------|
| 川越 里佳 | 松田 亜由美 |
| 乾野 純子 | 谷 穂 |
| 三好 正彦 | 西井 千瑛 |
| 東谷 陽子 | 末永 真由美 |
| 宇塚 芳乃 | 中西 琴美 |
| 石堂 奈央 | 堀家 絵梨 |

沿革

2019年

- 7月16日：施設改装開始
- 9月30日：施設完成
- 10月23日：第一種・第二種 / 動物取扱業登録
- 11月01日：事業開始

2021年

- 11月7日：第一回譲渡会（以後毎月開催）
- 12月15日-19日：にゃんにゃんCollection & 恋するWomen's Collection

2020年

- 1月9日：CATS WELCAREサロンOPEN
- 6月12日-7月14日：クラウドファンディング CAMPFIRE FIP治療費 / 支援者200人
- 8月7日-9月10日：クラウドファンディング CAMPFIRE シェルター運営費 / 支援者191人

2022年

- 1月28日-2月28日：クラウドファンディング Syncable マンスリーサポーター募集 / 支援者80人、目標達成
- 5月：HPリニューアル
- 11月23日：里親会
- 12月：多頭崩壊レスキュー 猫16頭 犬1頭全頭保護

2023年

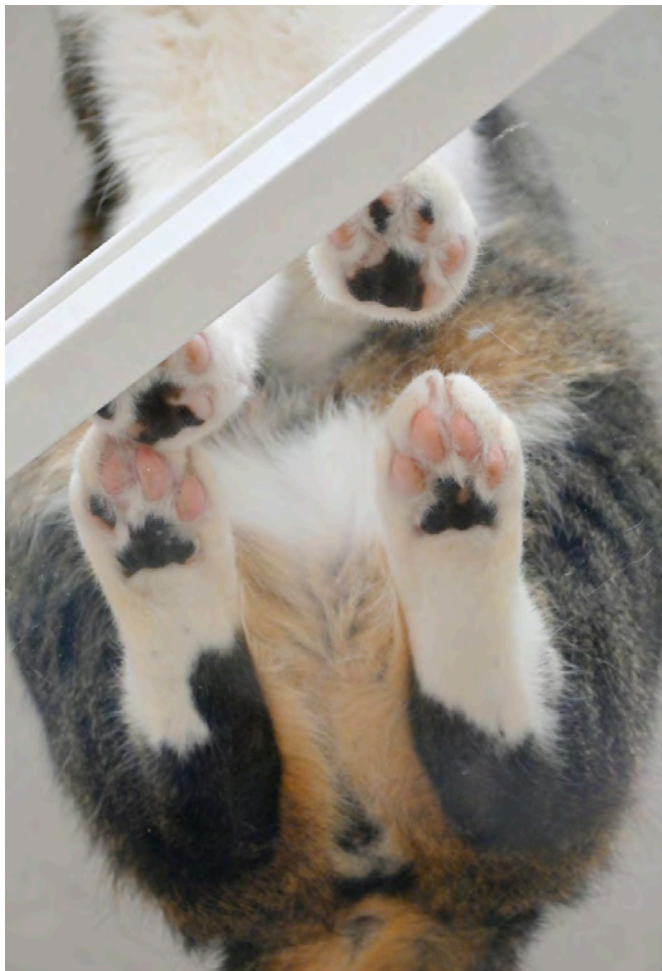
- 1月：学生実習受け入れ
- 2月24日：大阪ボランティア協会 講演
- 4月12日：NPO法人登記
- 6月：学生実習受け入れ
- 7月：多頭飼育崩壊レスキュー 猫10頭全頭保護
- 7月29日：九条フェスタ（地元商店街）出店
- 9月21日：大阪市西区社会福祉協議会 講演
- 11月5日：大阪市西區区民祭り出店
- 11月：多頭飼育崩壊支援（30頭） 保護1頭、避妊手術支援







NPO法人
CATS

保護ねこ施設
WELCARE



 大阪府大阪市西区千代崎2丁目12-8


 06-6556-7765

 cwc@catswelcare.org

 <https://catswelcare.org/>

 @CWelcare

 Cats Welcare

 @catswelcare_
@sumiccoclub_cwc
@cwc_hogoneko_no_tane

第一種・第二種動物取扱業登録
登録番号・種別 230029 販売
230029 保管
230029 貸出し
230029 展示
登録年月日 令和5年5月8日
有効期限の末日 令和10年5月7日
動物取扱責任者 東谷陽子

表紙写真：下半身不随のため

裏表紙写真：在籍ネコのミロ

ご支援をお願いいたします。

Syncable
(300円から募金していただけます。)



↑ねこの医療費や生活費等の
ご支援はこちらから

Amazon欲しいものリスト



↑物資のご支援はこちらから